

製品名: グルコシダーゼ II β ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab11487

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	59kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKCSH
別名	PRKCSH; G19P1; Glucosidase 2 subunit beta; 80K-H protein; Glucosidase II subunit beta; Protein kinase C substrate 60.1 kDa protein heavy chain; PKCSH
遺伝子 ID	5589.0
SwissProt ID	P14314
免疫原	抗血清はヒト GLU2B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

背景

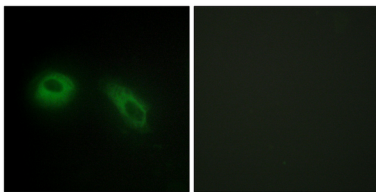
この遺伝子は、小胞体に存在する N 結合型グリカン処理酵素であるグルコシダーゼ II の β サブユニットをコードしています。コード

されるタンパク質は、プロテインキナーゼ C の基質として知られる酸性リンタンパク質です。この遺伝子の変異は、常染色体優性遺伝の多発性嚢胞性肝疾患と関連付けられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 1 月]、疾患: PRKCSH の欠陥は多発性嚢胞性肝疾患 (PCLD) の原因です[MIM:174050]。PCLD は常染色体優性遺伝疾患であり、胆管上皮由来の肝嚢胞が複数存在することを特徴とします。 PCLD は、常染色体優性多発性嚢胞腎 (ADPKD) [MIM:173900]とは独立して発症する、臨床的および遺伝学的に異なる疾患です。ADPKD は、かなりの症例数で肝嚢胞を伴うものの、その割合は不明です。機能: グルコシダーゼ II の調節サブユニット。経路: グリカン代謝; N-グリカン代謝。類似性: 1 つの PRKCSH ドメインを含む。類似性: 2 つの EF ハンドドメインを含む。サブユニット: 触媒 α サブユニット (GANAB) と β サブユニット (PRKCSH) のヘテロ二量体。グリコシル化された PTPRC に結合する。

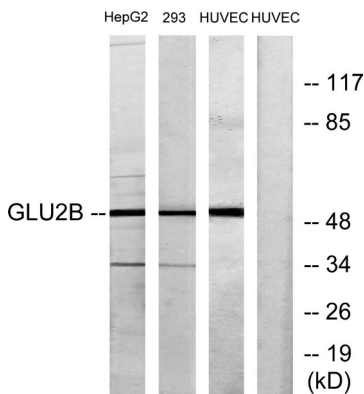
研究分野

-

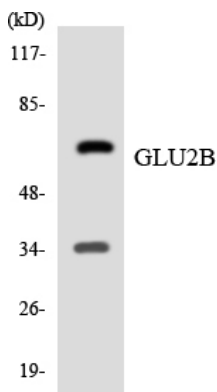
画像データ



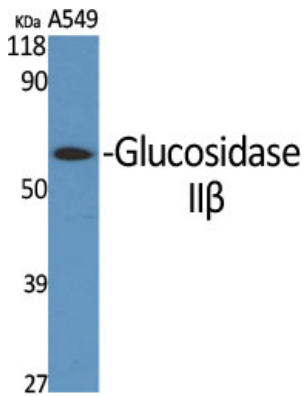
GLU2B 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



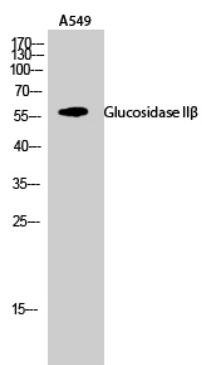
GLU2B 抗体を用いた HepG2、293、および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GLU2B 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



グルコシダーゼ II β ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



グルコシダーゼ II β ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析